

# 令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

学校法人大阪愛徳学園

## 1. 法人の概要

名 称	学校法人大阪愛徳学園 (昭和60年4月1日法人設立)	
代 表 者	理事長 上田 還子	
住 所	門真市元町5番27号	
電 話	06-6908-2266	
F A X	06-6908-2267	
設置する学校	住 所	門真市元町5番27号
	名 称	大阪愛徳幼稚園 あいとく保育園 あいとくナーサリー
役 員	理 事	6名
	監 事	2名
評 議 員		13名
理 事 会	3回開催	評議員会 3回開催
職 員		21名

## 2. 事業の概要

### 【大阪愛徳幼稚園】

#### 《教育方針》

一人ひとりが「世界でたった一人しかいない大切な自分」に気づき神様からも周りの人たちからも愛されながら育つ。

1. 健康と心身の調和的な発達
2. 協調・自主・自立の精神
3. 道徳性の芽生えを育む
4. 基本的な生活習慣としつけ
5. 豊かな情操を育てる
6. 国際人としての礎を築く

以上、6点を大切にしている。

#### 《教育内容》

人生の基礎であるこの幼児期を勉強にとらわれることなく伸び伸びとした戸外遊びを大切にしながら、挨拶を含めた美しい生活習慣を身につけること、そして友だちとの関わりを通して正しい社会性を身につけること。五感の鋭いこの時期にネイティブ講師による英語レッスンまた、専任講師による体操教室を取り入れている。

(R3.5.1在)	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数 集計	園児数 計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	4	70	3	70	3	70	10	210
令和3年度	3	44	3	50	2	42	8	136
令和4年度	3	32	2	28	2	47	7	107
令和5年度	1	30	1	32	1	30	3	92

(令和4年5月1日現在)

《保育時間》

月～金曜日 午前 10 時～午後 2 時 土曜日 休園

《保育時間》

保育料 27,000 円/月  
教育保育充実費 年長・年中 5,000 円/月、年少・満 3 歳 4,000 円/月  
給食費 厨房人件費 2,000 円＋食材費 2,000 円) / 月 8 月徴収なし  
バス維持費 3,200 円/月 (登園バス利用者のみ、8 月なし)

《入園時の費用》

入園料 30,000 円 検定料 2,000 円

《預り保育》

月～金曜日 保育後～午後 7 時 土曜日 午前 7 時 30 分～午後 7 時

《行事》

春の遠足、園外保育、聖母行列、あいとく秋まつり、七夕まつり、敬老の集い、運動会、味覚狩り (イチゴ、芋ほり、みかん等)、秋の親子遠足、音楽鑑賞会、七五三の集い、移動動物園、聖劇 (クリスマス会)、節分、劇あそび発表会、ひなまつり、卒園コンサート、サマー保育

《施設関係》

園地面積 2,685 m<sup>2</sup> 運動場面積 1,185 m<sup>2</sup>

《設備関係》

全館 LED 交換工事

《事業報告》

近年、門真市や近隣の幼児教育保育施設の動向や少子化が加速している状況などを踏まえ、令和 6 年度から認定こども園として運営すべく、現在申請の手続きを行っている。こども園にすることにより、保育の質をさらに上げ、子ども一人ひとりに丁寧に関わりを持って教育保育を行うことが出来るよう努めていきたい。

令和 4 年度より英語カリキュラム GrapeSEED を導入し、週 3 回のレッスンをすべてネイティブ講師により行った。聞いた単語や歌などを口ずさむ園児もおり、園児も楽しく学べている。また園独自で行っている課外「英語であそぼう」も多くの園児が参加しており、園の英語教育に対する保護者の理解・関心が高まっていると思われる。

預かり保育は、長期休暇にお弁当ではなく希望者に給食、また 15 時以降の利用者向けに自園で作ったおやつを提供を始めた。保護者にはおおむね好評。しかしアレルギー対応のおやつ提供が出来ていないため、来年度は通常保育で提供しているものを預かり保育でも提供できるようにしたい。

教職員の研修は昨年度よりは参加する機会が増えたが、教員の立場やキャリアにあった内容の研修が受講できるよう、研修計画を立て、計画的に進めていきたい。

教職員の有給休暇に関しては、有給取得率を上げることが出来た。特に有給休暇日数のうち 5 日については計画的に有給休暇の取得を行ったため、100%取得することができた。

以上のことを踏まえ、当園としては、事業継続を諮るため、より具体的な地域の乳幼児数を勘案し、中期事業計画の策定が必要となる。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙の通りまとめた。内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定することとした。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が 153,800 千円（前年度 167,984 円、対前年比▲8.4%）、教育活動支出計 160,786 千円（前年度 160,649 千円、対前年比+0.1%）、教育活動支出差額▲6,985 千円（前年度 7,355 千円）、経常収支差額比率▲4.54%（前年度 4.37%）となった。少子化による園児減少に伴い、教育活動支出差額、経常収支差額共にマイナスとなった。

人件費比率（人件費／教育活動収入計+教育活動外収入計）は 60.82%（前年度 57.63%）となり、前年度より少し悪化したものの、全国平均からの大きな乖離は見られない。

繰越収支差額は▲292,660 千円（前年度▲289,095 千円）となり、依然マイナス幅が大きく、引き続き財政状況を注視する必要がある。

### 3. 財務状況 (別紙参照)